

2024 年度第 1 回日本分析化学会関東支部（新旧引継）幹事会 議事録

日時：2024 年 3 月 18 日（月）14 時 05 分～16 時 20 分

場所：WEB 会議／北とびあ 701 会議室（ハイブリッド）

<2023 年度幹事会>

出席者

[支部長] 安田

[副支部長] 四宮、敷野、平山、宮下

[監事] 会田、津越

[常任幹事] 青木、稲川、植田、上野、岡村、島田、東海林、菅沼、菅原、鈴木（彌）、高橋（あ）、高橋（由）、豊田、沼子、古庄、森岡

[幹事] 勝又、吉川、中村、森田、半田

欠席者

[常任幹事] 石川、板橋、梅林、大塚、国村、桑田、坂元、高橋（豊）、並木、丹羽、林、由井、吉田

[幹事] 伊藤、西島、南木、福原

1. 前回議事録確認

原案通り承認された。

2. 審議および報告事項

(1) 2023 年度会計報告ならびに監査報告の件

敷野副支部長より別紙に基づき報告があった。特筆すべき点として、

- ・収支に関して1月のセミナー、若手の会、地区講習会などが追加された。
- ・ものづくり技術交流会の会場費が賃貸料に追加された。
- ・コロナウィルス対策が5類に移行したため、旅費交通費が増倍した。
- ・基礎セミナーのテキスト代が業者変更に伴い、支出額が減少した。

が挙げられた。

続いて、会田監事より、前述の会計報告書および貸借対照表について問題がないことを確認した旨が報告された。その後、2023 年度の予算を全会一致で承認した。

(2) 理事会報告

安田支部長より、本部の旅費規定が改訂されたこと、それに伴い関東支部の旅費規程を廃止し、本部の旅費規程を運用することが報告された。

(3) 分析イノベーション交流会活動報告（豊田常任幹事）

豊田常任幹事より、2024年2月7、8日に東京たま未来メッセにて開催された2023年度分析イノベーション交流会の報告があった。特筆すべき点として、

- ・延べ180名ほどの参加者
- ・「高機能材料・界面」、「極微量分析」をテーマとした主題討論の開催
- ・来年度も今年度と同様に開催予定

が挙げられた。

(4) 2023年度事業報告

安田支部長より別紙に基づき報告があった。2023年度の事業報告書を作成し、本部に提出した。

(5) 編集委員会報告

ぶんせき誌担当の高橋常任幹事より2024年2月29日に開催された第5回ぶんせき編集委員会の報告があった。特筆すべき点として、叙勲受章者への執筆依頼をその都度行うことが挙げられた。新旧引継編集委員会は2024年3月27日に開催予定である。

分析化学誌担当の鈴木常任幹事より2024年3月7日に開催された引継幹事会の報告があった。特筆すべき点として、編集委員会特集（2024年6号）懇談会特集（2024年9月、2025年3月）、討論会特集（2024年12月）を企画予定である。また、年間特集「分」についても引き続き投稿募集しているとのことが挙げられた。東海林常任幹事（分析化学誌編集委員）より6号の編集委員会特集は「分析イノベーション交流会」関連のものであるため、支部の皆様のご協力をいただきたいとの依頼があった。

平山副支部長より2024年3月14日に開催されたAnalytical Sciences誌新旧引継ぎ幹事会の報告があった。特筆すべき点として、Analytical Sciences誌創刊40周年記念特集号を企画することが挙げられた。

(6) 支部ニュースについて

島田常任幹事より、2024年3月8日付で支部ニュース33号がホームページ上で公開された旨が報告された。

(7) 旅費規程の改定に伴う支払方法変更について

安田支部長より、旅費の支払いを原則振り込みとすること、旅費申請のフォームを立ち上げるとのこと、事務局で旅費申請用のGoogle Formを作成することが報告された。

(8) その他

特になし

最後に安田支部長にご退任のご挨拶をいただいた。

<2024 年度幹事会議事録>

出席者

[支部長] 四宮

[副支部長] 菅原、敷野、平山、宮下

[監事] 津越、安田

[常任幹事] 青木、稲川、植田、上野、岡村、勝又、島田、東海林、菅沼、高橋由、豊田、中村、西垣、沼子、古庄、南、山口

[幹事] 吉川、齋藤、田中、半田、森田

[参与] 早下、山本

欠席者

[常任幹事] 板橋、伊藤、梅林、桑田、坂元、高橋（豊）、西島

[幹事] 鈴木（悠）、南木、福原

開始に先立ち四宮新支部長より就任のご挨拶をいただいた。

1. 審議および報告事項

(1) 2024 年度事業計画

四宮支部長より別紙に基づき報告があった。以下7項目の活動を行う予定である。

①講習会（支部セミナー）：第44、45回分析化学基礎セミナー、第14回分析化学の基本と安全セミナーの計3回を開催予定である。一方、現在中止している支部セミナーに関しては、支部セミナー委員会を中心に継続してその在り方を議論する。

②地区活動・若手交流会：従来通り行う予定である。

③表彰：新世紀賞および新世紀新人賞を最大各2名ずつ表彰する予定である。

④産官学連携：分析イノベーション交流会とものづくり技術交流会を開催する予定である。

⑤研究交流助成：分析研究イノベーションフォーラム助成の募集と研究報告会6月に開催予定

⑥ホームページ更新・支部ニュースの発行

⑦その他：第73年会を関東支部が担当予定である。

(2) 2024 年度予算計画

敷野副支部長より、別紙に基づき報告があった。予算の方針は例年通りである。今後の活動に応じて、会議費や交通費などの支出額が変更される可能性がある。

(3) 2024 年度常任幹事任務分担

四宮支部長より別紙に基づき報告があった。庶務の先生方には議事録の作成をご担当いただく旨が依頼された。

(4) 2024 年度イベントスケジュール

四宮支部長より別紙に基づき報告があった。特筆すべき点として、幹事会・常任幹事会の議事録をホームページ上に掲載する予定であることが挙げられた。

(5) 第73 年会（2024 年本部主催）準備状況報告

安田監事より別紙のとおり報告があった。特筆すべき点として

・シンポジウムを3つ開催予定（産業界シンポジウム、大谷前会長追悼セッション、学術変革領域研究シンポジウム）

・高校生ポスターセッションを実施する予定が挙げられた

(6) 2024 年度役員等選考委員候補者推薦

四宮支部長より報告があった。本部事務局により委員の人数が決定され次第、審議を進めるとの旨が報告された。

(7) その他

・津越監事より「ぶんせき」誌より博士論文要録の原稿執筆依頼があった。

最後に新旧支部役員の自己紹介を行った。